

南会津町長選挙 渡部正義氏 当選



渡部氏
時代の変化に対応した施策を！
若者定住、雇用を守るための支援を。

4月23日
中荒井



2022
たじまケーブテレビビジョンだより

4月24日、任期満了に伴う南会津町町長選挙と南会津町議会議員補欠選挙が行われました。即日開票の結果、町長に新人で元副町長の渡部正義氏63歳が6,048票を獲得し当選しました。元職で4度目の挑戦となった湯田芳博氏は3,880票と渡部氏に2000票以上の差をつけられ渡部氏には及びませんでした。

4月24日当日の町長選挙の有権者数は12472人、投票数は10096票、投票率は80.95%でした。告示の翌日4月20日から23日に行われた期日前投票数は4003票でした。総投票数のおよそ4割が期日前に投票を済ませ、当日は6割の有権者が投票を行いました。

渡部氏は急速に進んでいる人口減少に歯止めをかけるため若者が働けるための事業者への支援や、0歳から2歳児への保育料の負担低減、新型コロナウイルス感染症への迅速な対応などを訴えました。

湯田氏は、借金は増え、福祉は減り続け町は活力を失ってしまった。このままでいいのかと訴えながら、日本一の子育て支援の町へとスローガンを掲げ若者へ手紙を送るなど、施策の浸透を図りました。

子育て世代や福祉を必要とする広い世代に、時代の変化に対応し、次世代に継承したいというまちづくりを訴える渡部氏と、若い人中心に子育て日本一というスローガンを掲げ、継続か？革新か？このままでいいのか？と強い思いをアピールした湯田氏。6割を超える有権者が渡部氏を支持する結果となりました。

渡部氏は、時代の変化に対応した施策を決意に掲げています。選挙で選ばれ政治家となる新町長。副町長時代とは違う町民や職員への対応、決断と舵取りに期待が寄せられます。任期は4月30日より4年間。

同じ4月24日町議会議員補欠選挙が行われました。立候補したの元職の二人で渡部まさる氏と室井みのる氏で、渡部まさる氏が当選しました。投票率80.92%でした。議会議員補欠選挙では無効票が1,000票以上ありました。文字が読めなかったり、候補者以外の名前が書かれたりしたものがあつたようです。

町長選挙 届け出順
投票者総数 10,096
渡部まさよし 6,048 当
湯田よしひろ 3,880
無効票 168



議員補欠選挙
投票総数 10,092
渡部まさる 4,755 当
室井みのる 4,194
無効票 1,142
持ち帰り 1



湯田氏
このままでいいのか？
日本一の子育て支援の町へ

午後8時 田島体育館
開票が始まった



町長選挙は機械で名前を読み取り、町議補選は係り員の目で読み取り、その後いくつかの箇所をチェックが行われた



たじまCATVでは開票速報を放送しました

4月25日
当選証書付与
渡部俊夫選挙管理委員長から、当選証書が付与されました。



渡部氏は、当選証書が付与されたあと、「町長としての職責の重さを改めて感じた。これまで訴えてきた施策をしっかりとチェック、実行して町民の皆さんの信頼に応えるよう頑張っていきたい。湯田候補に投票した皆さんの思いも強く受け止め町政運営を行って行きたい。まずは若者定住、子育て支援に力を入れたい。若者を受け入れる事業者と話し合い雇用守ること、町が出来る支援をやっていききたい。」と思いを述べました。

いつでもどこでも交通安全！ 取り締まり強化

信号機の無い横断歩道で横断者がいたら必ず止まる。止まらない場合歩行者妨害となってしまいます。

4月6日から10日間春の全国交通安全運動が行われました。4月5日、南会津警察署では出動式が行われ、南会津署員、交通安全協会、安全運転管理者協会などの団体が出席しました。

警察車両や関係者らは、街頭広報啓発活動に出発しました。

交通安全 年間スローガン

わたります 止まるやさしさ ありがとう

全国交通安全運動スローガン

自転車も ルールを守る ドライバー

